

7. 北陸（地域別調査機関：一般財団法人北陸経済研究所）

（-：回答が存在しない、*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連 (北陸)		-	-	-
		商店街（代表者）	来客数の動き	・前月と比べると人通りが回復してきているが、まだまだ活気があるほどの人出には戻っていない。 ・ギフトの動きが好調である。
		一般小売店〔精肉〕（店長）	販売量の動き	
		一般小売店〔鮮魚〕（役員）	販売量の動き	・11月に入ってから金沢を中心に売上が伸びている。天候にも恵まれているためか観光客の増加が著しい。JRが東京などで北陸のカニのキャンペーンを行っているとも聞くが、23日からの3連休は久しぶりに多くの観光客でこった返した。
		百貨店（売場主任）	来客数の動き	・11月第4週目の3連休が地元客や観光客でにぎわうなど好調に推移し、月を通して店全体も前年を超える見込みである。特に月の後半は、コートなどの冬物重衣料が動いて客単価を押し上げ、全体をけん引している。
		スーパー（店舗管理）	来客数の動き	・来客数が3か月前より顕著に増加しており、現状は前年を捉えてきている。
		コンビニ（エリア担当）	来客数の動き	・たばこ値上げ後の販売の戻りが、予想よりも早い。
		衣料品専門店（店舗運営）	来客数の動き	・リニューアルセールからの新店オープンで来客数が増加している。既存店からもリピーター客が多くみられるとの報告を受けている。
		乗用車販売店（経理担当）	販売量の動き	・11月の販売量は前年同月比110%の見込みである。8月の販売量は前年同月比100%で、やや上向きである。
		高級レストラン（スタッフ）	来客数の動き	・前月に続きランチ利用が好調で、県外からの団体客が前年比120%の集客があり数字を押し上げている。
		一般レストラン（店長）	単価の動き	・11月は週末の天候が良く、紅葉の見頃も長く、観光客が多かった。また、カニ漁も始まり、単価が上がっている。
		スナック（経営者）	来客数の動き	・低空飛行の状態が普通になり経営は大変である。月末に予約を受けていた団体が3日間入り、ほっとしている。また、小規模企業の経営者からは前年より悪くなっているという話をよく聞く。
		テーマパーク（役員）	来客数の動き	・前年同月比ベースでみた場合、2～3か月前と比べるとインバウンド客と国内の一般の団体客、個人客共に増加傾向にあり、良くなっている方向にある。
		住宅販売会社（従業員）	販売量の動き	・客の動きが活発になり、消費税の引上げ前に駆け込み需要がみられる。
		一般小売店〔事務用品〕（店員）	来客数の動き	・新商品を扱うことにより来客数は増えたが、必要最低限の商品しか購入しないので売上は余り変わらない状況である。
		スーパー（総務担当）	販売量の動き	・前年と比較して気温の変化、青果物の相場高はあったものの、販売量はおおむね前年並みで推移し、また、月の推移でも特出することはなかった。
		衣料品専門店（経営者）	お客様の様子	・季節らしさを感じられる日々が多くなり、商材も全体的に動きが出ている。
		乗用車販売店（経営者）	来客数の動き	・週末にイベントを開催しているが来客数が減っている。まだ雪も降っていないので、例年よりも動きやすいと思うが足が重いようである。それに伴い販売量も減少している。
		自動車備品販売店（役員）	お客様の様子	・例年より降雪予想が遅れ、タイヤ販売の鈍化が売上ダウンに大きく影響している。前年の異常降雪もあり、新規購入客や、性能を重視してランクアップのタイヤを購入する客が多いように感じられるが、他商品では慎重になっている。
		住関連専門店（役員）	販売量の動き	・来客数の推移は変わらないが、販売点数が伸びていない。
	その他小売〔ショッピングセンター〕（統括）	来客数の動き	・来客数は前年並みで推移しているが、シネマが前年と比較し好調である。大型セールでのプロモーションの反応は良いが、衣料品のトレンドを改善させるまでには至らず、前年をやや落とす状態である。また、一部専門店の入替え工事が進捗中であるため単純比較は難しいが、玩具やスポーツの大型専門店がやや苦戦しており、全体としては前年に届かない状態である。	
	一般レストラン（統括）	来客数の動き	・11月中旬から気温が下がり、客と冬物商材が動き始めた。10月下旬～11月上旬は特に来客数が少なかった感じがある。	

	観光型旅館（経営者）	来客数の動き	・ほぼ例年並みの入込状況である。
	観光型旅館（スタッフ）	来客数の動き	・前年比で総売上が102.8%、宿泊人数が105.3%、宿泊単価が99.6%と、10月の台風による取消しが大きく影響した。本来ならあと4%は売上を確保できた。
	都市型ホテル（スタッフ）	来客数の動き	・宿泊部門では、単価はほぼ前年並みを維持しているものの宿泊数の減少が続いている。宴会部門は一般宴会の前年割れが続いている。レストランについては、やや来客数の回復がみられ、全体的には微減である。
	通信会社（役員）	販売量の動き	・12月から予定するBS4K放送スタートに向けて、テレビ契約の問合せが増えている。視聴者の関心の高まりとともに、テレビ契約数は増加傾向にある。
	通信会社（役員）	販売量の動き	・例年、年末商戦に向けて徐々に契約数が増加傾向になる時期ではあるが、今年はなかなか契約数が伸びていない。
	美容室（経営者）	来客数の動き	・ここ4か月連続して来客数が前年を上回っている。ここ数年はなかったことである。
	住宅販売会社（従業員）	販売量の動き	・受注量が安定しない。土地売買物件はニーズが高く、競争が激しくなっている。
	住宅販売会社（営業）	来客数の動き	・来客数が一向に上向かない。消費税の引上げの駆け込み需要がない。
	商店街（代表者）	来客数の動き	・9月の落ち込みを10月で若干カバーしているが、11月は極端に悪化している。10月は冬物衣料の前倒し購入の動きがみられたが、その反動から極端に落ち込んでいる。イベント集客は順調のようであるが周辺地区に限られ、商店街中心部への回遊の動きはみられない。
	一般小売店〔書籍〕（従業員）	来客数の動き	・来客数は変わらないが、客単価、売上は下がっている。
	百貨店（販売促進担当）	販売量の動き	・気温低下に伴い、防寒関連の婦人ファッション衣料品は順調に動いている。食料品は、お歳暮ギフトやおせち予約を中心に、高額商材の動きが堅調である。しかしながら、中間層の買物行動は相変わらず慎重であり、ボーナス需要に期待したい。
	百貨店（一般顧客訪問担当）	お客様の様子	・客の消費マインドが低くなっているようである。数か月前に比べると買物の決断が遅くなっている。
	スーパー（店長）	来客数の動き	・来客数がかなり落ちている。近隣店舗も来客数が伸び悩んでいることから何らかの要因で消費行動が鈍くなっているようだが、原因は分からない。
	スーパー（総務担当）	来客数の動き	・景気が良いと感じられないのか、来客数が減少してきている。他社スーパーもチラシ回数を増やしており、来客数の減少が発生しているようである。
	スーパー（統括）	単価の動き	・気温が下がらず、鍋物商材の動きが悪く、単価が上がらない。
	コンビニ（経営者）	販売量の動き	・ここ数年、客単価の上昇がずっと続いていたが、それも頭打ちの感じが見受けられる。また、たばこの値上げによる買い控えが続いており、そのせいで客単価も若干落ちている。
	コンビニ（店舗管理）	来客数の動き	・数か月間イベント続きであったが、当月は特に大きなイベントもなく、特需に授けられない落ち着いた日々である。そのため、来客数も数か月前の前年割れペースに戻っている。
	衣料品専門店（経営者）	お客様の様子	・相変わらずの人手不足と客の商品購入意識の低さ、また価格に対するシビアさが目立つ。
	家電量販店（店長）	販売量の動き	・11月の気温が高く暖房器具の売行きが低調である。
	乗用車販売店（従業員）	販売量の動き	・新規の来客数が少なく、なかなか売上に結び付いていない。
	その他専門店〔酒〕（経営者）	販売量の動き	・どん底をずっと来ていたのかと思っていたところ、前月、今月と更に悪くなった。どん底よりもまだ下に行こうとしている。
	旅行代理店（所長）	販売量の動き	・前年同期比で取扱額と受注額が減少している。
	タクシー運転手	来客数の動き	・忙しいのは週末だけで、平日は良くない。12月を前にして節約傾向が目立つ。
	タクシー運転手	来客数の動き	・今月の後半、暖かったせいか夜の繁華街が全く振るわなかった。朝夕はやはり、非常に忙しい。
	その他レジャー施設〔スポーツクラブ〕（総支配人）	来客数の動き	・本当に新規入会が取れない状態である。燃料、電気代、ガス代など水道光熱費の上昇が止まらず、アルバイトの時給も上がっており経費増が大変である。

	住宅販売会社 (従業員)	お客様の様子	・契約件数、契約額共に今月は少なくなっている。イベントへの来場者数も減り、ユーザーの動きも鈍い。例年12月にユーザーの動きが少なくなるが、今年は1か月早く年末になる感じである。前月までの動きとは違っているようである。
	x	-	-
企業 動向 関連 (北陸)			
	食料品製造業 (経営企画)	受注量や販売量の動き	・一部製品群の特需がけん引する形となり、その他製品群の苦戦を打ち消し、全体を押し上げている。
	金融業(融資担当)	取引先の様子	・観光客の入りは良く、ホテルや外食といった観光関連は引き続き好調である。取引先からは、前年同月比で増収増益の報告を数多く受けている。不動産関連も、市内で売りが出ればすぐに買手が付く状況で、かつ高値での売買が多く、好調である。
	繊維工業(経営者)	受注量や販売量の動き	・資材の動きは安定している。衣料の受注状況は、輸出や国内向け共に価格的には余り良くない。
	化学工業(総務担当)	受注価格や販売価格の動き	・受注量は、現状維持で推移している。
	プラスチック製品製造業(企画担当)	受注量や販売量の動き	・総じて受注は順調に推移しているものの、伸びは鈍くなってきている。
	一般機械器具製造業(総務担当)	受注量や販売量の動き	・当社の注力市場である北米、欧州市場は引き続き好調であり、国内は若干受注が落ちたが依然として引き合いは多い。
	建設業(経営者)	受注量や販売量の動き	・工事の受注量は前年並みであり、最近の多忙も12月工期の工事完成に向けて例年のことである。季節要因での多忙感であり、景気が良くなっている状況ではない。
	建設業(役員)	受注価格や販売価格の動き	・最近の受注動向からみて、景気のピークは過ぎたのではないかとの感触がある。
	輸送業(総務担当)	受注価格や販売価格の動き	・今月は前月に比べて燃料価格が下落したものの、高止まりしている状況に変わりはなく、燃料価格上昇分の転嫁が進んでいない。
	通信業(営業)	受注量や販売量の動き	・大型案件が少なかったものの、受注件数に変化はなく堅調である。
	金融業(融資担当)	受注量や販売量の動き	・10月以降、天候が安定しており、9月の台風で遅れていた工事が進捗した。
	電気機械器具製造業(経理担当)	受注量や販売量の動き	・エンドユーザーの在庫が過剰気味で新規の受注が減少している。
	精密機械器具製造業(役員)	取引先の様子	・客先ごとにばらつきはあるものの、全体の中での好調な取引先の割合が、3か月ほど前に比べて減っているようである。
	不動産業(経営者)	受注量や販売量の動き	・11月は、法人関係の購入者が特に少なくなっている。個人も問合せが少なくなってきたという話を聞いた。
	税理士(所長)	取引先の様子	・やはり中小企業の状況が人手不足によって厳しくなりつつある。一次下請、二次、三次と下請があるが、一番下の三次下請が、段々人手が足りなくなっている。また、高齢化ということで、現場作業関係の人が少ない。若い人がそちらへ行かないことから人手が少なく、二次下請も仕事が受けられないということで減収である。また、三次下請が少ないことから価格が上がってきている。そうした面で、中小企業が上と下のサンドイッチになっている会社が多くなっている。製造業でも調達部品の値上がりも、気になっている。
	x	-	-
雇用 関連 (北陸)			
	新聞社[求人広告](担当者)	雇用形態の様子	・求人広告が前年同月比で件数、売上共に150%を超える結果である。パート、アルバイトの比率は50~60%で変わらないが、正社員が減って契約社員の数が増えている。またフリー枠の件数も大幅に伸びている。正社員のコアな部分の動きは収まっているが、正社員登用も見据え契約社員の求人が増えていることで求人意欲がまだ衰えていない状況がみえる。
	学校[大学](就職担当)	求人数の動き	・1Day、2Dayのインターンシップ案内が11月に入って多く来るようになってきている。前年同期と比べて次年度卒者向けの求人案内が多く寄せられている。
	新聞社[求人広告](営業)	周辺企業の様子	・住宅販売業種、自動車販売業種、流通などに話を聞いても消費者に動きがないとの返答が多い。製造企業は業況が良いと答える。

	職業安定所（職員）	求人数の動き	<ul style="list-style-type: none"> ・10月の有効求人倍率は1.88倍と、相変わらず高い数値を示している。新規求人数は4,691人と前年同月比で14.4%の増加、常用求人では20.2%、パートでは7.3%の増加となっている。産業別では建設業、卸小売業、宿泊業、飲食サービス業、医療福祉で増加している。窓口で求人者から話を聞く限りでは、引き続き人手不足ということで、なかなか人材を確保できないという声が大変よく聞かれることから、当面この状態は続くのではないかと考えている。
	民間職業紹介機関（経営者）	求人数の動き	<ul style="list-style-type: none"> ・職業安定所へ求人を出しても応募がないので、紹介可能な人はいませんかとの飛び込み客も現れている。特に中小企業には人が集まらず、深刻である。
	人材派遣会社（社員）	求人数の動き	<ul style="list-style-type: none"> ・求人数が以前に比べて減少している。
	求人情報誌製作会社（編集者）	求人数の動き	<ul style="list-style-type: none"> ・ほとんど変わらないぐらいだが、微妙に求人数が減っている。
x	-	-	-